

令和 2 年度 NIE 実践報告

鹿児島市立武岡中学校

1 はじめに

本校は、学校教育目標「志をもち共に未来を切り拓け」を掲げ、生徒の実態に応じた課題解決のために、「確かな学力を身に付け、意欲的に学ぶ生徒の育成～各教科における主体的・共同的な学びを通して～」を研究テーマとして、学校全体で研修を進めてきた。

NIE 教育実践を通して、時事問題に興味・関心を持ち新聞に親しむ機会を取り入れたことで自らの意見や感想を伝え合う機会を多くとることができた。

2 本年度の実践内容

(1) 各教科における授業での新聞活用

- ・「よむのび教室」を活用し、新聞の読み方・新聞の魅力などを確認しながら、「コロナ新聞」を作成した。
- ・主に国語科を中心に、新聞記事を教材とした授業実践に取り組んだ。
- ・国語科による、南日本新聞「若い目」への投稿を積極的に行った。

(2) 新聞記事の掲示

- ・各学年の階段に NIE コーナーを掲示し、1 学期までは各クラスの NIE 係（副総務）にテーマに沿った新聞をスクラップしてもらい新聞記事を積極的に掲示した。2 学期以降は、国語科の授業の中で全員が気になる新聞記事を見つけて情報発信のきっかけとなった。
- ・学校行事や学習内容に関連する新聞記事を掲示した。
- ・気になる新聞記事選び、新聞クイズを作成して情報を読み解く力を育んだ。

(3) 各階のホールに新聞閲覧コーナーを設置

- ・いつでも手に取れるところに新聞を置くことによって、新聞を身近に見られるようにした。

3 活動組織について

(1) 校務分掌への位置づけ

全校体勢での取り組みを推進し活性化させるために、各学年から選出した NIE 担当者を校務分掌に明記し、特定の教科にとらわれず全ての教育活動において、全職員・全生徒が意欲的に NIE に取り組む姿勢を明らかにした。

(2) 生徒会組織への位置づけ

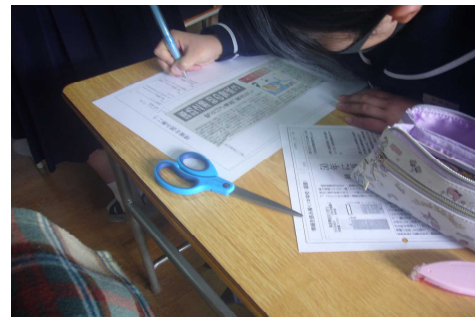
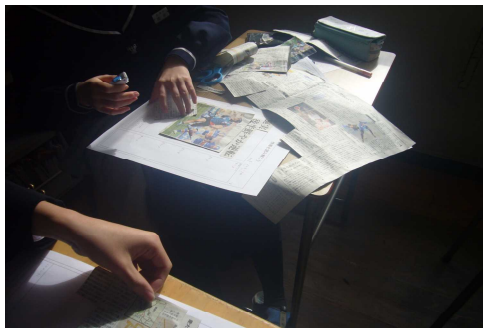
生徒会活動や学級活動等で NIE の取り組みを推進するために、学級生徒会組織の中の副総務を NIE 係として位置づけ、「NIE コーナー」を担当。

4 取り組みの実態

- ・各学年の階段踊り場に、各学年の「NIE コーナー」を設けている。



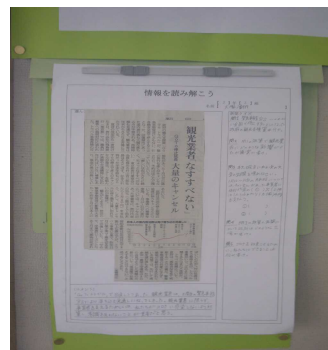
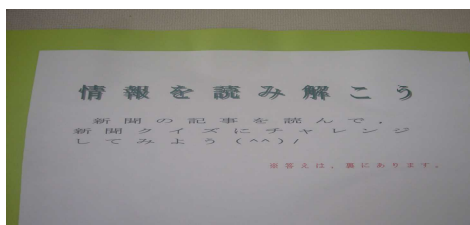
気になる新聞記事をスクラップして、コメントを交えながら新聞を通して交流の場となっている。



※難しい「ことば」は辞書を引いて確認中

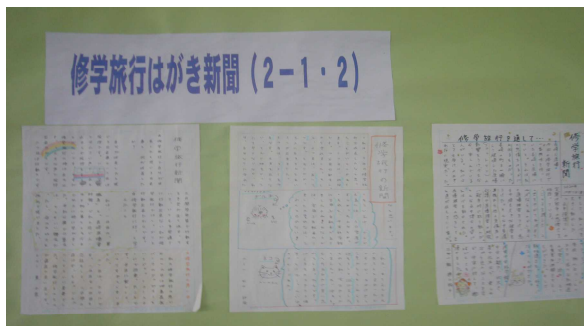


- ・「情報を読み解こう」新設コーナー
☆新聞記事をじっくりと読み、新聞クイズを作成。



さあ、いくつ解けるかな？

- ・ハガキ新聞
「コロナ新聞」・「修学旅行新聞」作成等



5 課題

- ・1学期までは、NIE 係（副総務）にテーマに沿った新聞をスクラップしてもらい新聞記事のコメントを掲示していた。一部の生徒だけの取り組みにすることは、もったいないという意見があがったことを受け、2学期以降からは国語科の授業の中で新聞を活用した時間を設けることになった。

- ・新聞記事の情報量は非常に多いので、個に応じた記事の選び方を見極めていく必要がある。

6 反省点

- ・読解力は個人差が大きいので、まずは気になる新聞記事を選ぶことから始めた。じっくり時間をかけて新聞記事と向き合う時間設定を取る必要がある。

- ・情報が多様化する現代だからこそ、身近な新聞を活用した授業のあり方を研修していく必要があることに改めて気づいた。